

# 大猫山へ行く 剣岳北方稜線東芦見尾根

9 / 9 最初、あきらめていた、天候が前日から急に良くなったので、近くの赤谷山にでも、行って来ようかと思  
い、馬場島へ出かけた。・・・

今日の行程は、比較的楽なので、ゆっくり朝食を摂って、出発。

いきなり後から車がきて、声かけられて振り返ると、・・・先日出会った、新しい早月小屋のご主人だった。・・・

・気さくな、気持ちのよい人柄である・・・

皆さん、是非、新しい「早月小屋」に行ってください。

ということで、出発・・・でも途中計画が〔コースが〕変わってしまった。

実は、このコースは初めてなのである。結局なんと沢を直登して、「大猫山」に登ってしまったのである。大窓は  
経験があるのだが。

でもまあ、失敗は成功のもと・・・初めて見るポイントの「剣岳の展望」で充分満足した1日〔・・・半日〕で  
した。

コースタイム

馬場島6:20 - 取入口6:40 - 大ブナクラ谷7:40 - 大猫山9:40 -

猫平10:00-大猫山稜線の池糖11:00 - 取入口〔大猫山登山口〕12:00

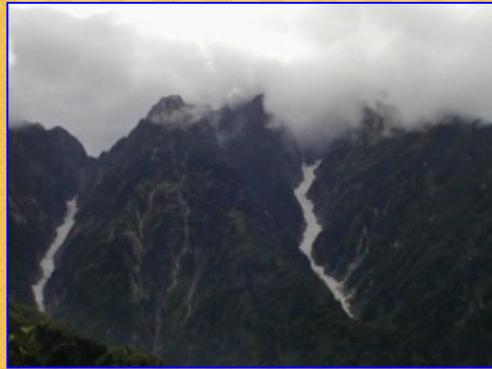
左への道を行くと、ブナクラ谷。赤谷山・猫又山へはここから登る。  
駐車場は、30台ぐらい大丈夫です。最初の堰堤は、はしごから始まる。



誰もいない登山道だと思いきや、来るわ来るわ、二人連れのグループが、5グループ、単独が2名。なかなかの  
スポットらしい。右の写真は、最初に出会った二人。剣岳を背景になかなか良い笑顔が撮れた。



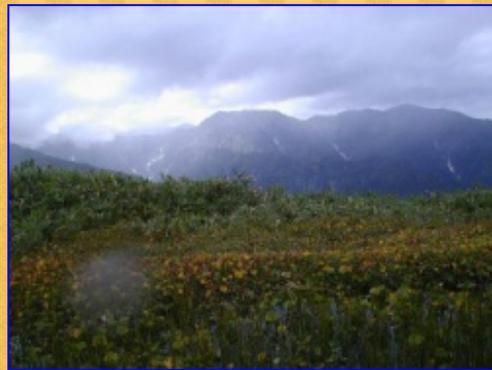
取入口の登山口からここまでは、約2時間。中山よりやや遠いが、急登のつらさに充分答えてくれる、すばらし  
い展望である。今日は、肝心の本峰が見えないのが残念だ。



大猫山への最後の登り。急な坂を下りると、地糖が点在する平に出る。ここは本当にすばらしい剣岳の大展望台だ。以前、有名な山岳写真家が細蔵山から撮影した写真集を見て、登って見たいと思ったが、ここはそこよりもっと目の前に見える、格別な展望台だ。



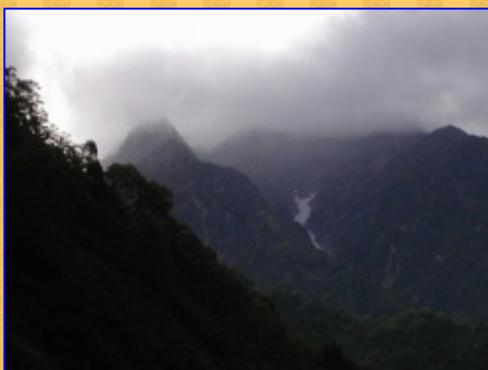
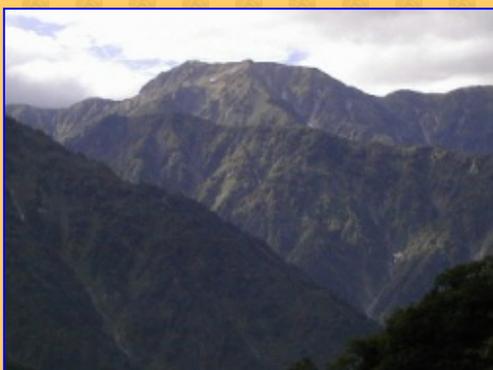
ということで、広い猫平などを散策、・・・ということより道がわからないので、ルートさがし。結論、ブナクラへの道は、冬の登山道しかない。東芦見尾根を下ることにした。・・・しかし、そこにはすばらしいできたての登山道があった。2000年に開通したそうです。



最後に、秋山情報ということで、秋のかおり、「紅葉」を前景にしてワンショット。右の写真は、左手前が「早月尾根」、右の奥が「奥大日岳」である。



湯水期の沢登りは非常に快適だ。高度がどんどん増すのが、正面の奥大日岳、剣岳を見ているとよくわかる。朝あんなに良い天気だったのが、ややガスってきた、非常に残念だ。今日は、登るだけかな。



- .....むむ、剣岳が正面すぎる、前景のはずの小窓尾根があまりじゃまにならない。
- .....どうも間違えて、大ブナクラ谷に入ったようだ。でも、大変わかりやすい沢なので直登した。
- .....といきなり開けた広い稜線、後で調べると猫平、大猫山だったというわけである。



## 秋山情報 1号 9 / 9

大窓・小窓・池の谷・赤谷山への案内。大変、りっぱ標識で、いかにもしっかり登山道が整備されているという感じがする。しばらくして、橋を渡ると道が二つに分かれる。右への道が、写真に紹介してある「大窓・小窓・池ノ谷」の登山口である。

